

神奈川県立上鶴間高等学校硬式野球部

パンフレット



「全員野球」

～誰からも応援される人材に～

【目的】

- ・社会で生き抜くための力を身に付ける。

【目標】 ※選手たちが自ら考えました

秋：地区大会 1勝(秦野高校に勝利) **達成**

春：県大会出場

夏：2勝

【スローガン】

- ・「全員野球」 ～誰からも応援される人材に～

【基本方針】

- ・上鶴間高校野球部は「全員野球」をスローガンに、一人ひとりに役割を与え、選手が決めた目標の実現に向けてチーム一丸となり取り組んでいます。さらに、規律を重んじる明朗な社会人としての基礎を養成し、社会に出た時に生き抜くための力（以下10の力）を身につけることを目的として活動しております。
- ・チームとしてのルールを徹底すること
- ・目標に向かって最後まで諦めないこと
- ・何事にも挑戦する姿勢
- ・気づく力
- ・自分自身で状況を判断し、行動する力
- ・仲間と積極的にコミュニケーションを取る力
- ・あいさつや返事、言葉遣い
- ・報連相の徹底
- ・自分の強みを活かすこと
- ・言い訳をせず、相手の言われたことを素直に受け止める力

【指導方針】

- ・指導方針として、選手主体で自分たちで考え、行動することを意識して取り組んでいます。選手たちで秋、春、夏と目標を決め、達成するためにどのような練習が必要なのかを考え、その都度ミーティングを開き、選手同士はもちろん、顧問とのコミュニケーションを大切にしています。人数が少ない中で、5人の野球専門の顧問が1人ひとり向き合い、個性を活かし、目標の実現、そして社会に出た時に生き抜くための力を身につけさせることを意識して指導しております。

【チーム概要】

○過去の歴史

- ・選手権大会ベスト8(2回)
- ・選手権大会ベスト16

○部員数

- ・2年生：6名
- ・1年生：6名(マネージャー2名)

○顧問(4名)

- ・監督：大井 健都(掛川西高校→立教大学→静岡大学大学院)
- ・部長：高橋 直人(仙台育英学園高校→仙台大学)
- ・顧問：辻本 海平
- ・顧問：山中 正道
- ・インストラクター：吉永 賢史(本校42期生)
- ・外部コーチ：村上 颯天

○卒業部員の進路先(2020、2021卒)

- ・神奈川大学
- ・帝京大学
- ・産業能率大学
- ・東京工芸大学
- ・帝京科学大学
- ・明星大学
- ・桐蔭横浜大学
- ・日本工学院八王子専門学校
- ・横浜医療秘書専門学校
- ・横浜医療専門学校
- ・神奈川経済専門学校
- ・東京コミュニケーションアート専門学校
- ・横浜リハビリテーション専門学校
- ・聖マリアンナ医科大学看護専門学校
- ・自衛隊
- ・就職

【現役部員から中学生へ】

(上鶴間高等学校硬式野球部のメリット)

- ・人数が少ないため、ほぼマンツーマンで教えてもらうことが出来たり、全員が試合に出れること。
- ・上鶴間高校野球部は他校と比べて人数が少ないですが、その分選手一人一人のモチベーションや意識が高まり、選手だけではなく先生も一人一人に関わる時間が多く、選手間とのやりとりが多いチームです
- ・人数が今は少ない分コミュニケーションなどが取りやすく話し合いがしやすい。先生の指導などが全員にできるので実力が上がっている。
- ・先輩後輩どうしコミュニケーションをとりやすいところ
- ・人数があまり多くない為、練習試合等に出させてもらう機会が多く、より実践に基づいて練習を行え、技術が向上した。
- ・野球経験がそんなになかったり、小学生の時しかやってなかったって人でも、気軽に入れるところと、人数とかの問題でレギュラーがとりやすいというところ

(入部してどうか)

- ・人生で1回きりの高校野球を上鶴間高校で出来てよかったと思っています。また、先輩との関わりが多く、たくさんの思い出があります。自分達の代で、より一層高校野球の面白みを感じています。
- ・小学生の頃にやっていたが、中学生ではバスケットボールをやっていたので、野球から離れてしまっていたが、もう一度野球ができたり、人数が少ないのでメンバーに入れることが嬉しいです。
- ・上下関係があまり厳しくなく先輩方と気楽に会話できることや、打ち勝つ野球を目標にしているので試合で打てることがとても嬉しいです。
- ・野球がそんなに上手くない人でもやりやすい環境ではあると思いました。
- ・入部当初は自分の野球のレベルは低く、チームでも下から数えたほうが早いくらい下手くそでしたが、上鶴間高校で練習したことで自分の野球のレベルが格段に向上した事がはっきり分かります。
- ・上下関係とかでの問題が全くなく、目標などもしっかり設定してから練習に励んでいるから、マネージャーとしてはとてもやりやすいし、とても楽しい。

【監督より】

野球が好きで、高校野球をやってみたいと思っているみなさん。高校野球という一生に一度しかない機会、私自身も元高校球児として高校生活のほとんどを高校野球に捧げてきました。その中で辛いことや悔しい経験がたくさんありましたが、仲間と助け合い、高め合う中で、大切な仲間と貴重な経験をすることができました。

ぜひ、上鶴間高校で野球をやってみませんか？

上鶴間高校は先輩後輩が仲良く、人数が少ない中でもチームのスローガンである「全員野球」で、秋の大会の目標「地区大会1勝」を達成することができました。あの喜びを今度は春、そして夏の目標を達成して再び全員で喜びを分かち合いたいと思います。そのために、1年生の力が必ず必要です。

ぜひ、上鶴間高校で一緒に野球をやりましょう！！

そして、高校野球で得たものが今後の人生における財産となるように、一緒に頑張っていこう！！

【部長より】

中学生の皆さん、上鶴間高校に入学して、ともに高校野球を楽しみませんか？私は、小学5年生から野球を始めて今に至ります。純粋に「野球が好きだ」という想いで野球を続けてきました。

私は小学校よりも中学校、中学校よりも高校の方が、どんどん野球が好きになりました。

特に、高校野球は一人ひとりにドラマがあるような3年間を過ごせたと思っています。そのため、今でも高校時代のチームメートとは毎年会っています。高校時代に過ごした仲間は一生涯の仲間となりました。皆さんにも、技術が上達するだけでなく、人間的に成長をして、一生涯の仲間を作れるような組織をともに作りたいと思っています。

ぜひ、少しでも上鶴間高校に興味・関心のある方はご連絡をいただけたらと思います。

お待ちしております。

【Q & A】

○上鶴間高等学校硬式野球部の特徴は何ですか？

A 選手の自主性を重んじることです。「自立」を目標の一つに掲げているので、活動日数や活動時間、練習メニューは選手ともに考えています。

また、SNS を活用しています。Googleclassroom を使用して、打撃や守備の動画を共有したり、練習メニューの共有等も行っています。

さらに、情報発信として野球部通信を定期的に発行しています。

○活動状況は？

A 月曜日が基本オフ

A 火曜日～金曜日 →放課後練習

A 土、日、祝日 →他校とのオープン戦 or 練習

○坊主ですか？

A 坊主は強制したりしません。

○練習場所は学校だけですか？

A 現在、耐震工事を行っているので試合はすべて遠征です。そのため、他校のグラウンドや相模原球場、大和スタジアム、玉川球場、田代球場等を使用しています。

○保護者の当番はありますか？

A ありません。しかし、応援に来ていただくことは可能です。

○野球部に入部したら、勉強についていけるか心配です…

A 部員でも塾に通っている生徒もいます。また、定期試験の1週間前からは、部活動を原則として禁止しています。勉強に関しても顧問が親身になって相談や指導を行います。